

労働実態の説明
遺族が申し入れ

ワタミ従業員自殺
ワタミの外食チェーンを運営するグループ

会社「ワタミフードサービス」の従業員だった08年に自殺し、今年2月に労災認定された森美菜さん(当時26歳)の両親が20日、東京都大田区のワタミ本社を訪れ、渡辺美樹会長らに事実説明を求める申し入れ書を提出した。美菜さんは08年4月入社。居酒屋に配属され、5月中旬に抑うつ状態となった。1カ月の時間外労働は141時間。父豪さん(64)と母祐子さん(58)はこの日、「会社の労働実態について、代理人ではなく社長や会長自身に考えてほしい」と訴えた。美菜さんの両親を支援する全国一般東京東部労働組合は30日、ワタミグループで働く人を対象とした電話相談を実施する。正午から午後5時まで、03・3604・5983、03・3604・1294、03・5650・5539で受け付ける。

【市川明代】